

福島第一原子力発電所周辺海域における 緊急的なモニタリングの結果について（速報）

（今回公表する項目）

- 1 平成26年4月4日の放射性セシウム、全ベータ放射能
（4月4日に発生したNo.1ろ過水タンク堰内水のオーバーフローに伴う緊急的なモニタリング）
- ① 5・6号機放水路の海水
 - ② A排水路の出口水

（調査結果の概要）

県は、福島第一原子力発電所において、平成26年4月4日未明からの大雨により、No.1ろ過水タンク堰内水がオーバーフローしA排水路に流れている可能性があることに関して、緊急的なモニタリングを4月4日に2地点で実施しました。

その結果、1リットル当たりの濃度は、放射性セシウムが「4.5～26ベクレル」、全ベータ放射能が「0.49～1.8ベクレル」でした。

1 平成26年4月4日分の放射性セシウム

	採取地点名	放射性セシウム (Bq/L) (セシウム134+セシウム137)	
		今回の測定値	過去の測定値の範囲 *1
①	5・6号機放水口海水	4.5 (Cs134 : 1.2、Cs137 : 3.3)	0.17 (H25.8.19) ～7.4 (H25.6.27)
②	A排水路出口水	26 (Cs134 : 7.0、Cs137 : 19)	今回、初測定

（注）*1 県が平成25年6月～26年2月に実施した北放水口付近のモニタリング結果
（参考）雨水の排水基準値（東京電力）Cs134:15Bq/L、Cs137:25Bq/L

2 平成26年4月4日分の全ベータ放射能

	採取地点名	全β放射能濃度 (Bq/L)	
		今回の測定値	過去の測定値の範囲 *2
①	5・6号機放水口海水	0.49	0.05 (H25.9.19) ～0.51 (H25.8.19)
②	A排水路出口水	1.8	今回、初測定

（注）*2 県が平成25年7月～26年2月に実施した北放水口付近のモニタリング結果
測定法は鉄バリウム共沈法
（参考）雨水の排水基準値（東京電力）Sr90として:10Bq/L